

▶ ステージうらがわ体験ツアー レポート



広瀬文化センターのホールはコンサートや演劇などにご利用いただいています。

『ステージうらがわ体験ツアー』は、その様々なイベントがどのように出来上がっていくか、その舞台裏を見て体験していただき、ホールを知っていただくきっかけづくりを目的としています。併せて、市民センターの活動支援団体『愛子の田植踊保存会』への興味と関心を持っていただければと、地域の小中学生6名の参加で開催しました。



はじめに、ホールの大きなスクリーンに『愛子の田植踊』の日頃の活動様子の動画を投影して見ていただきました。



本日の講師、広瀬文化センターの優秀なホールスタッフの紹介です。



動画視聴後は、さっそく舞台にあがって様々な舞台装置の説明を受けました。煙を出すスモークマシンという装置や、雪の演出に使用する「雪籠」という道具にも触れてみました。また、普段はスタッフ以外は入れない大道具庫のなかを見学しました。





舞台上での説明終了後は音響室、調光室、ピンスポット室に入りました。音響室にはホール内で聴きやすい音を作るための機械が設置されています。また、照明室は光で色を作り出し、調整するための装置が設置されています。そしてピンスポット室ではいろいろな方向から人物を目立たせるピンスポットライトの操作を行います。各部屋で装置の役割と操作法を学んでそれぞれ皆さんで操作しました。このあと実際にステージ演出体験に挑戦です。



さて、いよいよ本番開始です。舞台監督の指示で各担当がスタンバイします。本番開始のブザーの後、司会者が登場してピンスポットで照らされます。『愛子の田植踊』の紹介を行い演目がスタートします。緞帳が上がって照明担当が明りをつけ、音響担当がマイクの音量を調節。また、ステージ後方ではスモークマシンを操作し、舞台袖では雪籠を操作してステージ上に雪を降らせてステージ演出を体験しました。



参加者は少し緊張していた様子でしたが、それぞれの持ち場で上手に演出を行いステージ演出体験を終了しました。「初めて照明操作をしました。色の組み合わせで様々な色が作れるのがとても楽しかったです。」など、演出体験を通じ、舞台やイベントへの興味をもって楽しんでいただけた様子の声を頂戴しました。最後にはステージ上に上がって、『愛子の田植踊保存会』の皆さんと参加者の皆さん一人一人の紹介を行いながら、感謝の拍手で終了しました。



- 日 時 2019年8月18日（日）
13時から15時30分
- 会 場 広瀬文化センターホール
- 参加者 小中学生 6名
- 主 催 広瀬文化センター
広瀬市民センター
- 協 力 愛子の田植踊保存会
(株)東北共立